

平成31年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

経済学

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

九州大学大学院地球社会統合科学府

次の(問題1)から(問題5)までの中から2つを選択し、問題番号を明記した上で解答しなさい。ただし、問題ごとに異なる解答用紙を用いること。

(各問題 100 点、合計 200 点満点)

(問題1)

日本の農山漁村における6次産業化の状況について説明しなさい。ただし解答にあたっては、具体的な事例について言及すること。

(問題2)

米中両国が相手国からの輸入品に対して関税を引き上げる措置を相互に繰り出しているが(いわゆる米中貿易戦争)、この保護主義の応酬が米中両国に及ぼす影響について、「生産者余剰」、「消費者余剰」、「死荷重」という用語を用いて説明しなさい。また貿易戦争のデメリットは非常に大きいものであるにもかかわらず、米中両国が貿易戦争を辞さない理由について自分の考えを述べなさい。

(問題3)

明治はじめに金本位制を試みた国立銀行条例は、金の準備不足のために金銀複本位制となった。その後の日本における金本位制の状況について説明しなさい。ただし解答にあたっては、1890年代から1940年代にかけての変遷に着目すること。

(問題4)

中国では2015年に第3次産業(サービス産業)のGDP構成に占める比率が5割を超えるなど、サービス経済化が近年急速に進んでいる。一般に経済発展に伴い、サービス経済化が進む傾向が多く、多くの国で観察されるが、その要因について説明しなさい。その上で、中国において近年サービス経済化が進む理由とサービス経済化が中国経済の成長に及ぼすメリット、デメリットについて論述しなさい。

(問題5)

GHQ/SCAPによる占領下の日本では食糧増産政策がいくつも実施された。その背景となる、敗戦後の日本の食糧不足の原因とGHQ/SCAPの占領方針について説明しなさい。その上で、食糧増産政策の内容について具体的に論述しなさい。